

【大船渡市】 ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和5年11月～12月実施）においては、「学校規模ごとの帯域の目安」に達する学校は全小中学校15校中3校の20%であった。また、同調査でネットワークが遅い・繋がりにくいと感じることがあると回答した学校が全小中学校15校中8校の53%であった。

このことから、当市ではネットワークの状況の課題を本格的に調査するため、令和6年12月にネットワークアセスメントを実施した。

当該アセスメントにおいて実施した通信速度測定の結果、令和7年度を迎える市内小中学校全14校については、現行のネットワーク環境において当面の推奨帯域を満たしていることが確認された。このため、現時点においてはネットワーク環境の改善を要しないものと判断した。

2 今後について

今後、デジタル教材の活用や文部科学省CBTシステム(MEXCBT)による全国学力・学習状況調査の実施等により、教育現場において大容量の通信が見込まれる。ネットワーク機器の適時の更新を行い、良好なネットワーク環境の維持を図りつつ、後述する学習系と校務系のネットワークの統合など、学校のネットワーク環境を取り巻く新たな課題に取り組む。